

新山協ニュース

▲ 発行者 平田大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒951 新潟市下旭町109 鈴木敏雄方 TEL025-222-9548

第9回東北地区

海外登山研究会報告

海外登山委員会

田中純夫

さる11月18・19日の両日にわたって標記研究会が岩手県山岳協会の主管により盛岡市繋温泉において開催された。参加者は80名、本県からは海外委員の東樹、田中の2名が参加した。

第1日目は12時より受付、地元岩手県の海外登山委員長の小野寺光義氏の司会のもとに始められた。岩手県山岳協会副会長出堀宏明氏の主催者あいさつのおと記念講演に入った。記念講演は3つ用意された。まず始めは三原洋子氏。

「7000m峰三度登頂を振り返って」という題で、同氏の1975年の日本女子エベレスト隊参加から、1992年のカトマンズクラブ隊チャオ・オユー峰登頂に至るまでの登山歴が話された。次は尾形好雄氏で、「エベレスト南西壁冬期初登攀、ヒマラヤ最新登山事情」という題で、群馬岳連隊のエベレスト南西壁冬期初登攀の模様、および最新の

シッキム・ヒマラヤの登山情報報告された。最後は貫田宗男氏で「トレッキングから高峰登山へ」という題で、地元岩手出身の二上氏とのペアによるエベレスト登頂の模様、およびエベレスト・ピューホテルの宮原氏とのエベレスト登山の模様がユーモアを交えて報告され、また随所に同氏の登山哲学が語られた。貫田氏の講演は特に印象に残るものであった。

その後、以前日本山岳協会事務局に勤務していた、現在は明治生命で仕事をしている宮川洋子氏より、海外登山保険についての耳よりな情報報告された。

北地方の岳人による快挙であった。ここで時間は限界となり、日程第1日目は終了。残り2日目という事になった。日程第2日目に行われた各県登山隊報告は以下のとおり。

- 1 山形ギシリクタク登山隊
- 2 山形マナ北西峰登山隊
- 3 東北大学長稜山の会隊、シニオルチュー登山隊
- 4 会津山岳会カングスタン登山隊
- 5 ルンポカンリ登山隊

最後に東北各県における海外登山委員会の活動および海外登山活動の模様について7県から簡単に報告がなされた。以上で予定されたすべての日程は終わり、次に予定外の議題ということで、東北地区海外登山研究会によるヒマラヤ遠征、特にエベレスト計画が話題とされた。この計画は今後具体的につめて行くということで、取りあえず2000年にエベレスト登山を行うということを得た。事務局は秋田岳連の海外委員長に置くこととし、この研究会に参加している7県の海外委員や海外委員長を準備委員として設置することとなった。今後、この準備委員会と各県の山岳協会(岳連)の関係をどのように折衝して行くか、事務的な折衝を重ねて行くこととなる。いずれにしても、この東北7県によるエベレスト遠征計画は地方の岳人たちにヒマラヤ遠征のチャンスを提供するものであり、啓発的効果は極めて大きいものと期待される。今後情報が入り次第「新山協ニュース」紙上で逐次お知らせする予定である。

理事会報告

期日 平成8年1月28日
会場 新潟市 イタリア軒

- 1 継続審議事項について
- ①東北7県エベレスト登山隊について
- ②新潟稜友会加盟について

新潟山岳会の一部会員による新組織であるが、両会の話し合いが円満裡に終了

していること、更に新潟山岳会も加盟に賛成していることから了承。

2 今年度の残事業について指導委員会所管、春山講習会を3月9日(土)10日(日)米山で実施する。

会場は現在折衝中。大平をベースにワカン行動を基本として、雪崩対策をテーマに行いたい。了承。

3 8年度事業計画について各専門委員会より今年度の事業報告と併せて次期理事會に提案してもらう。

4 分担金値上げについて協会の活動は役員の無償奉仕により行われている状態にあるが、組織の活性化のためにも少なくとも県外で行われる会議、行事等についての交通費実費程度は

負担すべきでないか。また協会の財政は一本化するべきでないか。等々の意見から実態がどのようになっているか、改善するとすればどのような方法がベターかなど、三役を中心に次期理事會まで検討する。了承。

5 室賀前会長に対し新年会の席上で感謝状と記念品を贈呈したい。了承。

死の世界へアタック

日本山岳会会員 小倉 厚

前進キャンプでの夕食は雪の中の立ち食い。BCでの優雅さはない。それでもまことにおいしい。温かい紅茶に生気をとりもどす。人気者のイ

ルシアさんの「おかわり！」は板についている。あとの日本語はからきしだが、下手な日本人よりずっと勧め上手だ。私もつついとい杯も飲んだ。

以前、日本隊についたことがあるのだろう。ロシア人と日本人とは、こんなところでも習慣の違いが見られる。BCでもそうだったが、ロシアでは食堂と寝室は別々で、こんな深い山の中でも食事と炊事テントはちゃんと別に張る。常日ごろ、悠揚迫らぬひげのロシアの隊長も、さすがに明日はいよいよアタックの日、

日本流に早朝に出発すると宣言。日本隊も早々に割り当てられた2張の日本製ダンロップテントに6名ずつ入った。はなはだ窮屈。互い違いにメザシのようにしか入れない。日本との時差はわずかに4時間。そこに白夜の国がある。日本人にとって昼夜のわかたぬカムチャツカとは、不思議な国である。そしてその白夜の中で、晴天と降雪が繰り返

された。一喜一憂とはこのことだろうか、眼前にはヒマラヤを思わせる氷河をいただいた峻険そのものの山が望まれた。それにしてもこの狭さで、最盛期の富士山の山小屋を思い出させ、用足しに出るたびに全員が起こされた。

いよいよ待ちに待ったアタックの日。幸運の女神は我々の頭上に輝いた。絶好快晴。そ

6 関川村山の会から同村で開催される「山岳展」の展示品借用方の依頼。展示資料お持ちの方は同会へ。
7 次期理事会・専門委員会 3月17日長岡市けさじろ荘
8 評議員会・理事会 4月14日 新潟市
9 新年会参加者75名 (常務理事 土田幸雄)

参 加 対 象
○大学山岳部のリーダー及びリーダー候補者の男子学生
◎年齢は50才未満で下記の資格に該当する者
○都道府県における山岳遭難救助組織の指導的立場にある者
○山岳会(クラブ)の会長の推薦する者
○大学山岳部のリーダー及びリーダー候補者
○年齢は50才未満で高等学校及び高等専門学校において登山を指導している者
○小、中、高等学校及び高等専門学校の教職員
○少年団体等の指導員
○登山研修所の講師

◎年齢は50才未満で下記の資格に該当する者
○山岳会(クラブ)の会長の推薦する者
○大学山岳部のリーダーの女子学生及びリーダー候補者の女子学生
○大学山岳部を指導する教職員又はコーチ
○都道府県・市区町村教育委員会事務局における登山担当者及び地域・職域において登山を指導している者
○高等学校・高等専門学校において登山を指導している者 (ただし、若登り講習会には参加できない)

◎都道府県教育委員会が当該都道府県山岳連盟(協会)と協議の上、推薦する健康なもの
○地域、職域等における中高年登山グループのリーダー
○都道府県山岳連盟(協会)の関係者
○都道府県・市区町村教育委員会の関係者

して昨夜の降雪で、あたり一面があたかも神の庭のように美しい。

いつもゆっくりなロシア人も今日はさすがに5時起床。

今日の行動予定は、山頂ピストン(往復)とAC撤収、そしてベースキャンプまで帰る目いっぱいスケジュール。

昨夜と同じように、炊事テント前のあわただしい朝食。

6時。相変わらず献立は紅茶、パン(白・黒)、硬い甘い甘い菓子パン、つけるものはバター、ミルク、それに我々が持参した蜂蜜、それに生のタマネギ、ニンニク、味のないグリーンピース(かん入り)、硬いハムとベーコンなどなど。

雪の中の立ち食いだが、「おかわり!」「おかわり!」の連発のイルシアさんに元気づけられる。

やや体調不調のF氏はテントキーパー。全員7時出発。7時かと言うなかれ、日本時間では午前4時に当たる。冬山日帰り装備と荷も軽く、きわめて快調。日本人初、未踏峰への夢が大きくふくらんだ。

まず、昨日の溶岩の尾根を北に進む。しかし昨日と違って、あたりはまぶしいまでに明るく、カムチャツカの山に登っている実感をひしひしと感ずる。壮大な死の世界であった。

(長岡新聞より転載)

カムチャツカ讃歌 ⑥

厳冬期の富士のごとく

日本山岳会会員 小倉厚

ほどなく雪溪に挑む。しかし傾斜が緩くアイゼンは要らない。日本の北アルプスを思い出す。

地名は全く分からない。ただ地形だけを頼りに進む。雪渓を抜けると今度は溶岩累々たる岩稜となり、間もなくひ

とつのピークに至る。頂に奇岩をいだくこのピークは、帰路でもよい目印となった。ロシア人隊はすこぶる元気で実に頼もしい。本日一回目の休憩。N、I両隊員はこの地点で、キャンプ撤収準備の任務を帯びて引き返し、日本隊員

文部省登山研修所 平成8年度事業計画(案)

1 主催事業

名称	季別	実施期間	定員	実会場
大学山岳部リーダー研修会	春山	5月14日(火)~5月20日(月)(7日間)	50	剱岳
	夏山	8月24日(土)~8月30日(金)(7日間)	50	剱岳
	冬山	平成9年2月27日(木)~3月5日(水)(7日間)	50	大日岳
山岳遭難救助研修会	夏山	6月17日(月)~6月21日(金)(5日間)	40	雑穀岳
高等学校高等専門学校登山指導者研修会	夏山	8月5日(月)~8月9日(金)(5日間)	30	剱岳
集団登山指導者研修会(国立立山少年自然の家との共催)	夏山	8月19日(月)~8月22日(木)(4日間)	30	立山周辺
講師研修会	冬山	平成9年1月15日(水)~1月17日(金)(3日間)	10	大日岳

2 講習会

雪上技術講習会	春山	5月24日(金)~5月28日(火)(5日間)	40	剱岳
岩登り講習会	夏山	7月25日(木)~7月29日(月)(5日間)	40	剱岳
山岳スキー講習会	冬山	平成9年2月13日(木)~2月17日(月)(5日間)	30	大日岳 又は 鍛崎山

II (社)日本山岳協会、都道府県教育委員会等と共催で実施するもの

中高年安全登山会 指導者講習会	<東部地区>	9月5日(木)~9月7日(土)(3日間)	青森県
	<中部地区>	9月18日(木)~9月20日(土)(3日間)	兵庫県

III 平成8年度全国山岳遭難対策協議会(予定)

- (1) 主催 文部省、警察庁、環境庁、気象庁、(社)日本山岳会、山岳遭難対策中央協議会
- (2) 期日 平成8年7月11日(木)、12日(金)の2日間
- (3) 会場 岐阜県岐阜市内

日山協山岳共済更新時期です。手続きは3月中旬に済ませましょう。

は9名となる。

ピークの後ろにまわると、待望久しかったトルバチュク
の山頂、そして火口をめぐる
長い雪の稜線が姿を現した。
初見、実に美しい。私は胸
を熱くして眺め続けた。そし
て果たして頂上に立てるだろ
うか。との不安が脳裏をよぎ
る。左手にはとても3千メー
トルとは思えぬ峻峰がそそり
立ち、筆舌を越えるとはこの
ことだろうか、その崇高さは
まさに神々の座だ。

これよりは火口底、内院と
も思われる長い長い雪渓をた
どる。カール(圈谷)のよう
な地形、トルバチュクの数多
い外輪の火口のなかなのだろ
う。強風がときどき襲い雪煙
が舞い上がる。あたかも厳冬
期の富士山の姿がそこにあっ
た。高度とともに気温もさが
る。

日本人初の道、感慨無量、
ただひたすらに登り続け、山
頂を仰ぎ、登路はどこかと探
す。山を美の対象としてのみ
見ず、登れるかと見る悲しい
山男の習性だ。

すうそこと見えるが、どこ
まで行っても同じように見え
るのは、山がとほうもなく大

きいからだ。とても、白馬岳

の大雪渓、小雪渓の比ではな
い。しかし、それでもロシア
人ガイドを先頭に、次第しだ
いに頂上に続く内輪の壁に近
づいた。途中もう一度風を避
け、岩陰で休憩。非常に寒く
気温は氷点下5度。

トルバチュクはロシア語で
「ココのまて」
と書くが、
私にはとても読めず、意味も
不明だ。

突風が時々襲う。その度に
立ち止まって、耐風姿をとり
ながらの前進だ。そして長大
な雪渓もやがて最奥に達した。

頂上へのルートは、やはり
前に立ちはだかる急峻な雪渓
だった。新雪を上に下は氷結
している。アイゼン不要との
ことだが、私は失敗したと思っ
た。しかし、もう遅い。まま
よと雪の壁にとりつく。ロシ
ア人は平気で靴でキックしな
がら、二本のストックを巧み
に使って登ってゆく。こちら
は一本杖だからどうしようも
ない。

仕方なく、我々はピッケル
を持った隊員を先頭に、足場
をカットしてもらいながら、
ようやく急場をしのいだ。風
景を楽しむ余裕どころか、無

我夢中の登攀たっ

た。ここがトル
バチュク登山の
唯一の難所。た
だし唯一のなぐ
さめは、この高
度ではヒマラヤ
で悩む高度障害
はでない点だ。

そしてようや
く、雪のない溶
岩の尾根にとり
着いた。

(長岡新聞
より転載)



前進キャンプ地、標高2,400m
雪が降っていた。

わがクラブ ②

水原山の会

村山栄

会が発足して22年。その間
のあれこれ。初冬の飯豊は、
14年続けてやっているゾ。一
般参加山行の「王子岳登山
の集い」14年連続してやって
いるゾ。毎月発行の会報「い
つづむり」13年間毎月発行し
ているゾ。8年前ネパールの
アイランドピーク(6169
M)目差したがやむなく敗退

しているゾ。(けど参加者が少
ない)おじちゃん、おばちゃ
んがいっぱいいるゾ。(つま
り最近若いのが入ってこない)
いっつも飲み会は、にぎやか
で盛り上がるゾ。(山に行か
ない者もこれだけは、出て来
る。)会員20名中無縁コイル
もっている者12名もいるゾ。
山以外にパラグライダー、ラ
ンニング、と他の遊びもやっ
ているゾ。美人がいるゾ。
(酔っぱらうとそう見える。)
どーだ!うちの山の会、
偉いだろー!(ちっとも偉く
はない。)

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736